

次世代リーダー育成体制の構築に向けた研修方式 比較検討資料

議題	リーダー職の離職防止と次世代リーダー育成のための研修体制構築について		
課題	リーダー職及び管理職の離職による採用コスト（150万円以上/人）の発生と、次世代リーダーの育成停滞による組織力低下は、事業継続に重大な経営リスクを及ぼす。		
解決策	施設内での講師派遣型 集合研修（年4回）	外部研修機関でのリーダー 育成研修（年4回）	通信制による段階的リーダー 研修「ミッケル研修」
効果予測	- 年間総費用1,816,000円と最も高額な投資が必要 - 一時的な学びに留まり、行動変容に結びつきにくい - 講師不在時のフォローアップが困難	- 年間総費用672,000円と中程度の投資 - 他施設との交流による刺激は得られるが、現場での実践に課題 - 参加者から非参加者への知識共有が困難	- 年間総費用260,000円と最も投資効率が高い - 隙間時間での学習により、業務への影響を最小限に抑制 91%のリピート率が示す高い効果実績と行動変容の期待
スケジュール	- 講師との日程調整に2ヶ月前から準備が必要 - 全職員のシフト調整が1ヶ月前から必要 - 会場設営と資料準備の事前確認が必要	- 研修機関との契約手続きに1ヶ月前から必要 - 参加者と非参加者のシフト調整が1ヶ月前から必要 - 研修会場までの移動手段と時間の確保が必要	- 研修機関との契約後、即日開始可能 - 受講者の業務調整不要で他職員への影響なし - 教材は全てオンライン提供で特別な準備不要
コスト	1,816,000円の内訳： - 講師料：800,000円（200,000円×4回） - 教材費：400,000円（100,000円×4回） - 調整運営費：456,000円（事前準備・当日運営・事後対応を含む：114,000円×4回） - 代替職員人件費：540,000円（1,500円×6時間×15名×4回） - 講師宿泊費・交通費：160,000円	672,000円の内訳： - 研修費：480,000円（30,000円×4名×4回） - 交通費・宿泊費：80,000円 - 宿泊費：12,000円×4名 - 交通費：8,000円×4名 - 代替職員人件費：192,000円（1,500円×8時間×4名×4回）	260,000円の内訳： - 研修費：220,000円（55,000円×4名） - 諸経費：40,000円 ※シフト調整不要で追加人件費なし ※交通費・会場費・宿泊費等の付帯費用なし
図解	181万円 10% 研修費 継続率	67万円 30% 研修費 継続率	26万円 91% 研修費 継続率

本資料の比較検討結果より、通信制による段階的リーダー研修「ミッケル研修」の導入を提案いたします。本研修は、年間260,000円と最も投資効率が高く、日常業務への影響を最小限に抑えながら、人財育成が可能です。91%という高いリピート率が示す効果実績と、シフト調整や追加人件費が不要である点は、施設の現状に最適であると考えられます。ご検討の程、よろしくお願い申し上げます。